

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あうりんこHOUSE		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 20日		～ 令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 20日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和 6年 12月 20日		～ 令和 7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援時の助言や説明に満足いただけている園が多い結果が出ている。	訪問先や保護者からの質問に対して、訪問先の環境も考慮した上で、園でも取り入れやすい関わり方や環境設定などを先生方と一緒に検討している。	・児童発達支援でのアセスメントを踏まえ、集団場面での困り感をより具体的に抽出し、訪問先へ共有・支援方法の検討へ繋げる。
2	訪問支援時の知識や技術に満足いただけている園が多い結果が出ている。	当事業所では小児経験のある医療専門職を中心に訪問支援を行っており、専門的な視点から助言を行うことができている。特に、客観的な評価結果をもとに対処策についてご提案できるよう努めている。	・訪問先の環境設定や指導方針など、より細かく共有することで訪問先に沿った実現可能な支援方法の提案を行う。 ・園や学校の支援に関する外部研修の受講を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数が少なくなってしまう利用児がいる。	・他療育の利用や園の予定、当事業所の都合などが一致する日が少ない。 ・多機能型事業所であるため、通所支援との兼ね合いから訪問支援に回える時間帯、日が少なくなりやすい。 ・訪問支援を行う職員が限定的となっている。	・訪問支援についての頻度や時間帯など、ご家族や関係機関と検討し、より計画的な利用を実施できるようにする。 ・医療専門職以外の職員に対しても研修やOJTを実施し、訪問支援を行える職員の育成に努める。